

...まだ止められる!

六ヶ所再処理工場—大量の放射能放出とたび重なる被ばく事故!

## 食品の放射能汚染を考える

2006年3月31日、青森県の六ヶ所村で全国の原子力発電所から発生した使用済み核燃料を再処理してプルトニウムを取り出す工場が最終試験(実質的には試運転)に入りました。計画によれば本格操業は来年8月。処理の過程で、大量の放射能を定期的に、大気と海に放出しなければ運転できない施設です。その上、4月からの試運転期間中だけでも放射能漏れ事故や作業員の被ばく事故など様々な事故を起こしています。

青森県や三陸からはおいしい農水産物が首都圏に出荷され、私たちは安心して食べ続けたいと思っています。一方で、私たちの使った電気のゴミを処分するために、工場からの放射能の放出が始まってしまいました。

しかし、再処理をしない処分方法を選ぶこともできます。汚染はまだ始まったばかりです。まだ間に合います。再処理工場のことを知らない方もぜひ参加してください。

会場：横浜市開港記念会館  
2階 第9会議室

開催日：06/11/19(日)

開催時間：pm.2:00~4:30

講師：澤井正子さん(原子力資料情報室)

資料代：300円



- (1) JR京浜東北・根岸線「開内」駅南口から徒歩10分
  - (2) 横浜市営地下鉄「開内」駅1番出口から徒歩10分
  - (3) みなとみらい線「日本大通り」駅1番出口から徒歩1分
- ◆Tel045-201-0708

主催：日本キリスト教団神奈川教区核問題小委員会

問い合わせ先: Tel&Fax 046-267-7525 (久保)

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

問い合わせ先: Tel&Fax 045-922-2083 (田代)